

ICカードラックの自作について

1 ICカードをどこにおいたらよいのか…

学校で、ICカードを使った勤務時間管理を始めるときに、意外と悩むことに、「ICカードをどこに置くか」ということがあります。IDカードを普段から首にぶら下げている学校であれば、その中に収納してもらうことで解決ですが、そうっていない学校では、カードの置き場所を作って運用していくことになります。

市販のものの多くは、壁に取り付けるものが主流で、机の上に置くタイプの物はなかなか見つかることができません。100均ショップでは、プラ製の名刺入れなどが使えそうな候補です。

こうした市販のラックを導入するときには、一つ注意点があります。それは、能率的に収納できるようにカードの一部分を重ねて収納するように設計されているため、見える部分が、カードの上か下の方に限られてくることです。カードには、名前や番号を書いて使いますので、この部分が見えるようなカードラック選ぶ必要があります。



市販のラックは名前が上や下の限られた部分にでるため、カードのデザイン時に注意が必要

2 カードラックを自作する



私の学校では、机の上にカードラックを置いて、後ろの方の視界を邪魔しない程度の高さに抑えられるように、木製のひな壇のようなカードラックを自作しました。

といっても、ホームセンターに行って、マイスターと呼ばれる木工のオーダーメイドを請け負って下さる方に、依頼して作っていただいたというのが本当のところです。

ひな壇ラックを作る場合には、カードを横と縦に何枚並べるかによって、ひな壇の幅と高さが変わってきます。

カードをうまく置くためには、カード一枚について幅が11cm必要になります。ですから写真のように2列で並べるためには、幅22cm、人数が多くて3列にする場合は、幅33cmと計算します。

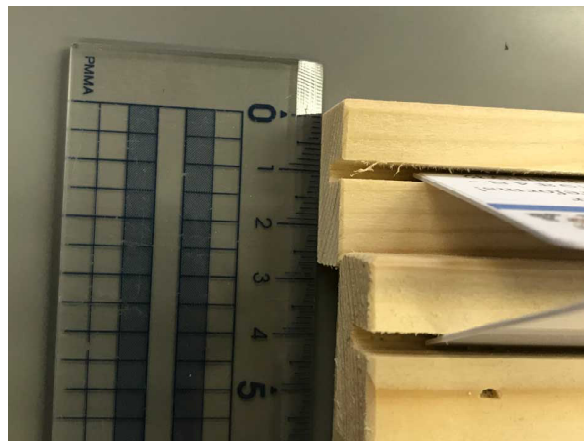
カードを何段積み重ねるかについては、私が依頼したマイスターさんは、高さ2cm位の木を使われました。10段で約20cm位の高さです。

もし、ICカードの枚数が30枚なら、横3列の縦10段とするか、横2列の縦15段とするかです。学校の状況にもよりますが、置いた感じの安定感から横3列×10段の方がお勧めのように感じます。40名、50名と増えてきた場合は、このラックを2個作って2カ所で入力するという事も可能です。PunchOutはネットワーク上のドライブにも対応していますので、入力場所を2カ所設置して、それぞれの場所でも入力することもできます。学校の状況に応じて柔軟に設置を考えてください。

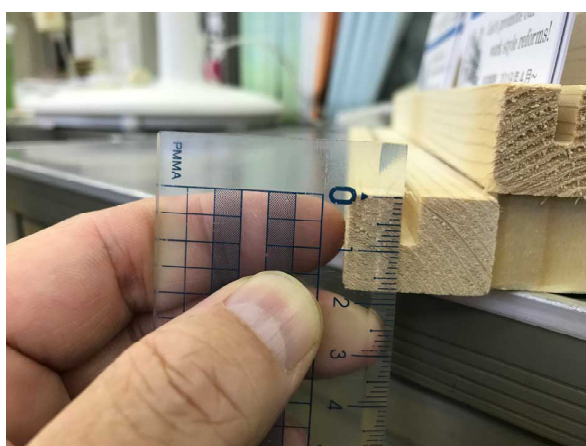
3 製作に必要な諸情報について画像も添えて



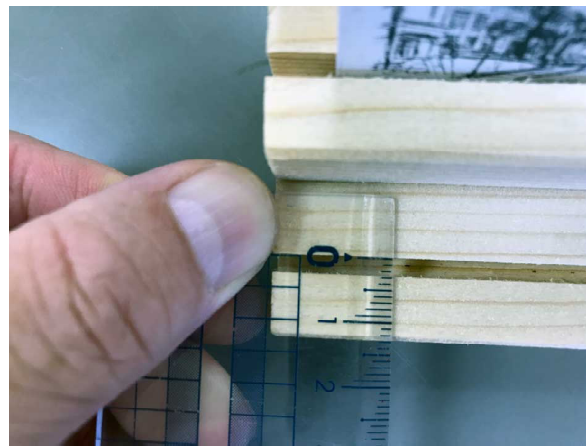
横幅はカード1枚11cmです



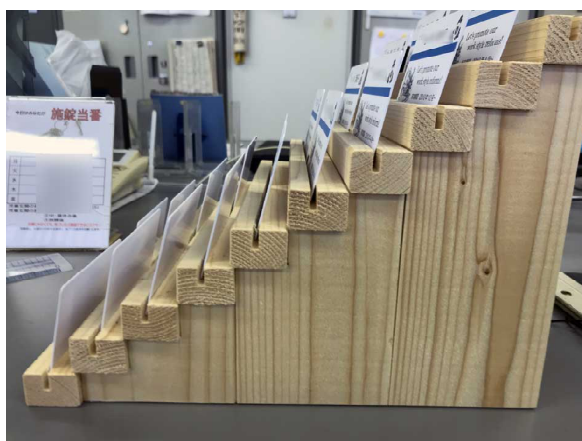
一段の幅は27mm 位の木材です



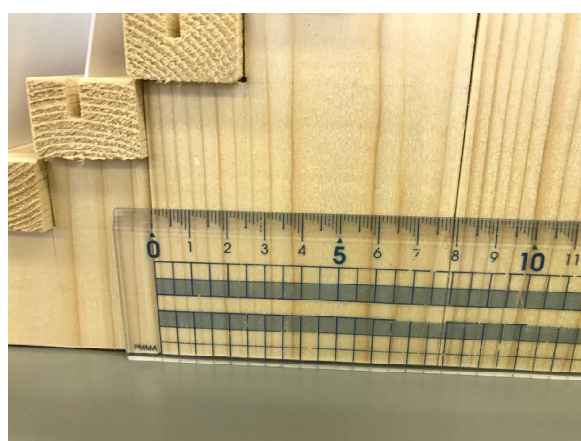
木の厚さは2cm、 溝の深さは8mm くらい



溝の幅はカードが少し倒れてみやすくなるように
幅3mm でつくります



多段にして段を上げるときは、8cm 幅の木を、
何枚か使ってひな壇を受ける部品をつくります



下の段の木と、上の段の木を少し重ねて配置する
こともでき、奥行きを短くできます。



ひな壇の裏側は、このような感じです。



段をささえる木材を、底部ではねじ止めで固定します。



段の木材を、上部ではかくし釘で固定しています。